



令和7年4月30日発行

校長 鈴木 和彦

横尾中学校 学校だより

校訓「自立」＜学校スローガン:「Challenge」～I can do it.～＞

【令和7年度 体育大会について】

5月18日(日)に開催予定の体育大会。予定通り開催したパターンと天候不順により順延した場合のパターンを掲載します。

予定どおり5月18日(日)に開催した場合

5月18日(日) 体育大会実施(弁当持参)



5月19日(月) 振替休日



5月20日(火) 平常授業

体育大会予備日のため弁当持参

順延した場合

5月18日(日) 休日



5月19日(月) 平常授業(20日の時間割)
弁当持参



5月20日(火) 体育大会 弁当持参

◎ 態度決定について

予定どおり実施する場合でも延期する場合でも、前日(5月17日土曜日)15:00に tetoru にてお知らせします。

◎ 横尾だんじり保存会によるだんじり披露は、朝9:40から予定しています。

【地域の達人講話】

4月25日(金)5・6校時に長崎外国語大学の教授安田眞由美先生をお招きし、「世界の言語から見た日本語」という演題で講話をしていただきました。安田先生の話では、世界の言語から見て日本の言語は以下の4つの特徴があるということです。

- 1 第一言語、第二言語とも使用人口が1.25億人で世界第13位。
- 2 3種類(カタカナ、ひらがな、漢字)の文字を日常的に使用する言語は珍しい
- 3 母音の数、SOVの語順、yes - no疑問文の語順は世界の言語の中では多数派に属する。
- 4 語の数が多い。

◎講話を聴いての生徒の感想文(一部)を紹介します。

1年生

今日の講話で大きく3つのことを学びました。1つ目は日本語を使っている人は1.25億人で世界13位だったので、とてもびっくりしました。

2つ目は文字が3種類あるということです。今まではカタカナ、ひらがな、漢字を当たり前のように使っていたので、外国の人からすると難しいのだと改めて知り、新鮮な感じがしました。

3つ目は母音の数や文の順番などで日本語は多数派なのだという事です。

2年生

日本の文化を理解しようと日本語を勉強しようとしている外国人の方々に対し、とても嬉しく感じました。また、私も外国の文化や言語への理解を深めるために、学習によりいっそう積極的に取り組もうと思いました。それでも、日本語を大切に思う気持ちを忘れず過ごしていこうと思います。今回のお話の内容は、新しい知識を学習すると同時に外国のことや違う視点で物事を見ることへの興味を引き出してくれるきっかけとなることができました。

3年生

・今日の講話を聴いて、今まで外国の方々が「日本語が難しいと言っているのは、発音や字のことかと思っていたけれど、3つの「ひらがな、カタカナ、漢字」の使い分けがあるからだ」と知ってびっくりしました。私たちは普段何気なく使っている日本語は外国の方が日本語を勉強するとなると、まず、ひらがなからカタカナ、漢字の3つを勉強しないといけないから、日本語が難しいということに納得することができました。

・講話を聴いて印象に残ったことが2つあります。

1つ目は言語には第一言語と第二言語があるということです。第一言語は成長する過程で自然に身に付けた言語、第二言語は第一言語を習得したあと意識的に学習して習得する言語だということを初めて知り、驚きました。

2つ目は世界で使われている言語のランキングで日本語は13位だったということです。日本の人口は少ないし、日本語は難しく習得するのに時間がかかりそうと思い、もっと下の方かと思っていたけど、13位でとてもびっくりしました。

今日、改めて日本語の難しさを実感しました。圧倒的に単語が多く、大人になってから習得する人はすごいなと思いました。